

国際交流基金助成事業報告書

薬学部 4 年次生 小川 絢矢

1, はじめに

この度、国際交流基金の助成を受け、2019 年 8 月 18 日から 25 日の 8 日間にわたり、カナダのバンクーバーで行われた医療英語レッスン&医療施設見学のサマープログラムに参加したことについて報告致します。このプログラムでは、午前には語学学校で英語を学び、午後に現地の医療施設の見学や現地で働く薬剤師の方の話を聞きました。

2, 語学学校

Oxford International/Eurocentres という語学学校で英語を学びました。この学校はバンクーバーのダウンタウンにあり、日本からだけでなく、韓国やブラジルなど様々な国から来た留学生の方がいました。授業は一緒にこのプログラムに参加した大阪薬科大学生 14 人とこの学校の先生で行われました。授業では初めに文法や単語など英語の基礎をして、その後医療に関する単語を学び、最後の授業では医者役と患者役に分かれてロールプレイングをしました。先生の説明がとてもわかりやすく、また、わからない単語は例えを出しながら教えていただいたのでとても勉強になり、もっと英語を学びたいという意欲も湧きました。大阪薬科大学でこれまで学んできたことを活かしながら Oxford international/Eurocentres で新たに学んだことを組み込んでロールプレイングをすることができ、有意義な体験をすることができました。

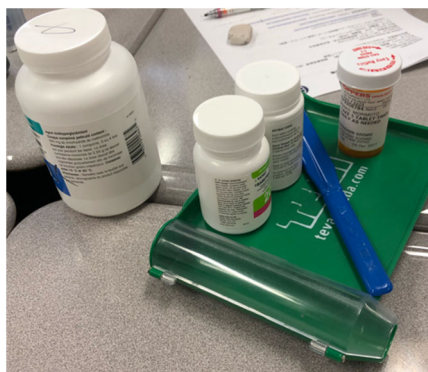
3, ゲストスピーカー

授業後にカナダで働く薬剤師の方とナースプラクティショナーという職業の方の話を聞きました。

1) 現地の薬剤師の方の話

薬剤師の方は以前日本の病院で働いており、現在はカナダで薬局で働いている方でした。日本とカナダの薬剤師の業務の違いや医療制度の違い、カナダでの薬剤師のあり方、仕事内容、給料のことなど様々なことを教えていただきました。その中で一番印象に残ったことは患者への薬の出し方でした。100 錠や 1000 錠、一年分などを一回で渡すことがあり、ほとんど全ての薬は PTP などの包装はなくひとつひとつ数えているということに驚きました。カナダの薬局には薬剤師の他にアシスタントとテクニシャンがいて、薬剤師は服薬指導や医者への FAX など薬剤師がやらなくてはならない仕事しかなく、錠剤を数えたり調剤をしたりなどの仕事はアシスタントとテクニシャンがするそうです。アシスタントのミスは全て薬剤師の責任になります。そのため、薬を渡す時に薬剤師が確認したりすることもあるそうです。他に日本と違う点として、

薬剤師が予防接種をできるということや処方権があり薬剤師が処方できるということがありました。薬局には薬剤師は一人しかいないため、融通はきくが誰からも助けを求めることができないので仕事に慣れるまでが大変であることを知りました。



2) ナースプラクティショナーの方の話

ナースプラクティショナーとは医学診断と治療の両方ができる総合診療をする高等看護師です。総合診療もでき、医学的治療に加えて看護的なアプローチもできる職種です。医師との違いは医師の仕事だけでなく看護師としての仕事もどちらもできることです。カナダではとても人気の職業で看護を目指す人のほとんどはこの職業を目指そうです。ナースプラクティショナーの方からは主に覚醒剤や麻薬のことについて教えていただきました。カナダでのマリファナの合法化したことや薬物がどれだけ危険であるかなどを教えていただきました。

4, 医療施設見学

午後には現地の医療施設に訪れ見学をさせていただきました。今回は病院、薬局、クリニック、超音波検査施設、血液検査施設に行きました。

1) 病院(False Creek Healthcare Centre Vancouver)

病院では院内の部屋を回って実際に使用している医療機器についてやカナダの医療制度についてを教えていただきました。この病院にはBC州で一番強い放射線を出す装置があり、放射線が部屋の外まで届いてしまいが鮮明な画像で見ることができます。また、骨をとめる器具があり、カナダでは患者の体に入れるものは全て記録を取らないといけないので、この骨を止める器具を患者に入れたら記録する必要があるそうです。カナダではまずかかりつけ医に診てもらった後専門医を紹介してもらえる制度で、この病院ではすぐに専門医に診てもらえるように専門医がいる体制を整えています。カナダでは症状によって診てもらえるまでの待ち時間、手術待ちの時間が長いので次の人の手術をしようとしたら入院を短くするしかないそうです。そのため、入院はほとんどなく、盲腸では1日だけしか入院しないそうです。

2) 薬局(The Pharmacy)

薬局では薬を探す練習をして、その後薬剤師の方から薬局の仕事について教えていただきました。予防接種は患者のプライバシーなどもあり、薬を販売しているところではなく個室に移動して行うそうです。注射の練習は大学のカリキュラムに含まれているそうです。薬の整理やお客様の対応はアシスタントがしていて、対応時に薬剤師の方に確認していたりしました。

3) クリニック(Mainland Medical Clinic)

このクリニックでは walk in の人の対応もしておりクリニックが開くより前から並ぶ人がいるが、多くなりすぎたら全員を診ることができないので 12 時半には walk in を終了するそうです。他の国の方も来ることがあるみたいで、日本の雑誌を置いていたりしました。このクリニックでは虫歯以外は診ることができるので、だいたいの方は最初にクリニックに訪れるそうです。また、予約をとらなければ 1 つの症状しか診ないのですが、予約をとると 2 つ診てくれるそうです。診察室はそこまで大きくなかったのですが、色々な機具があり、一つの部屋で大体のことはできます。注射や予防接種だけでなく予約したらマッサージもしてくれるそうです。

4) 超音波検査施設(Vancouver Ultrasounds)

超音波検査施設では検査の結果を専門医や技師が見て、そのレポートが専門医から一般医に送られます。画像はあまり送ることがなく、画像を送る場合でもレポートなしで送ることはないそうです。日本では一般総合医が画像を見るのでここが日本と違うところだそうです。

5) 血液検査施設(Lifelabs)

ここでは施設内を回りどのようなことをしているかを教えていただきました。この血液検査施設は検査の予約をすることができ、予約をしていなくても walk in で入れるようにしています。血液検査以外にも検尿や検便をすることができます。検査結果はだいたい 2~3 日ほどで出るそうなのですが、他の場所に送って調べる必要がある場合は 1 週間ほどかかるそうです。

5, ホームステイ

ホストファミリーはとても優しく、気さくな人達でした。ホストマザーはその日あった出来事を聞いてくれたり、いろいろな観光地やおすすめの店を教えてくれたりしてくれて毎日話すのがとても楽しかったです。ご飯はとても美味しく、作り方を聞いたら細かく教えてくれました。また、ご飯の時はその家の他の留学生の人と話すことができ、ホストマザーが教えてくれた場所以外の観光地やその日あった面白かったことなど笑いの絶えないとても楽しい時間を過ごすことができました。カナダでの生活を体験できてよかったです。

6, 観光

午後の医療施設見学の後にはカナダの観光地を巡りました。学校の周りには観光地がとても多く短時間で沢山の場所を回ることができました。観光地への行き方を周りの人に訊ねるなど全て英語で会話することに不安を感じていたのですがうまく伝わることができ、語学学校で学んだこと以外の言葉やその使い道を学ぶことができました。

バスに乗っている時は色々な人が話しかけてくれたり、バスの運転手が歌ったりしていて日本では想像できないような体験をすることができてよかったです。名所には今回このプログラムに参加したメンバー14人で行くことが多く、全員仲良く楽しく観光ができてよかったです。



7, 最後に

このプログラムでカナダの医療について、また、カナダの文化を体験することができてとても充実した時間でした。1週間という短い時間でしたが様々なことを体験することができました。カナダの医療制度の良い点だけでなく、良い点の中にある問題点などこのプログラムに参加しなければ知ることも気づくこともなかったであろうことを教えていただき、知識を広めることができました。今後の学校生活や就職後に今回得た知識を活かしていけるよう努力していこうと思いました。